

시 민

문서번호	국제교류담당관-8351
결재일자	2018.8.20.
공개여부	대시민공개
방침번호	

주무관	아시아팀장	국제교류담당관
협 조		

일본 지구어린이클럽 대회 입상자
인솔을 위한 공무국외여행 결과보고

추진근거	대내(외) 협력 현황			사 업 비
	부서(단체)명	협약내용	협약결과	

기 획 조 정 실
(국제교류담당관)

「일본 지구어린이클럽 대회 입상자 인솔」 공무국외여행 결과보고

일본 지구어린이 클럽 환경포스터대회 입상자(2명)를 인솔하고자 도쿄를 방문한 후 그 결과를 보고 드리고자 함

1 출장 개요

□ 출장 목적

○ 일본 지구어린이클럽 환경포스터대회 입상자(2명) 인솔

- 제22회 우리들의 지구를 지키자 초·중학생 환경포스터 대회

- ▶ 본 대회는 우리시와 도쿄도와 교류협력사업의 일환으로 '04년 이후 매년 대회 작품 모집 및 응모, 시상식 입상자의 인솔 등을 추진 중임

지구 어린이클럽 및 행사개요

◆ NPO 법인 지구어린이 클럽

- ▶ 명 칭 : 특정 비영리활동법인 지구어린이클럽
- ▶ 설 립 : 1991년 환경청 창립 20주년 기념사업으로 설립 ※ 2000년 NPO법인 인증
- ▶ 활동내용 : 작문·포스터대회, 식수사업 등 세계 어린이들 대상 환경교육 사업
- ▶ 회 장 : 산토 쇼코 (山東昭子) 참의원 의원
- ▶ 임 원 진 : 명예회장1명, 회장1명, 부회장2명, 사무이사1명, 이사9명

◆ 환경보호 포스터 대회 개요

- ▶ 행 사 명 : '우리들의 지구를 지키자' 초·중학생 포스터 대회
 - 2018년 주제 : 대기오염에서 벗어나 깨끗한 공기를 만들자
- ▶ 주 최 : 일본 NPO법인 지구어린이클럽 (자매도시 도쿄도 협력사업)
- ▶ 후 원 : 일본 외무성, 문부과학성, 환경성, NHK, 후지TV, TV아사히
- ▶ 참가 대상 : 한국·일본의 초등학교 4학년 ~ 중학교 3학년

□ 출장 개요

○ 기간 : 2018. 8. 7.(화요일) ~ 8. 10.(금요일), 3박 4일

○ 장소 : 도쿄(일본)

○ 출장자 : 행정6급 오동훈

- 신천초 6학년 강조안, 동원중 2학년 임수민 동행

2

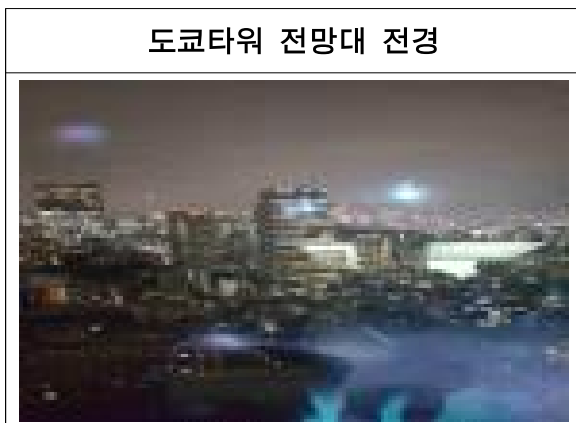
주요 일정

일 자	출발지	도착지	방문기관	업무수행내용	비고
8.7.(화)	김포	도쿄		<ul style="list-style-type: none"> ○ 김포출발(12:55)-도쿄도착(15:00) - NH864편(2시간 05분) ○ (18:00) 도쿄타워 시찰 	※ 숙소 : 아카사카 마로우도인 호텔 (Marroad Inn Akasaka)
8.8.(수)				<ul style="list-style-type: none"> ○ (10:00) 도쿄메트로 주요 역사 및 일본 고전상가 복원지 시찰 ○ (13:30) 지구어린이클럽 주관 우에노 국립과학박물관 시찰 ○ (18:00) 지구어린이클럽 주재 환영만찬 	
8.9.(목)				<ul style="list-style-type: none"> ○ (10:00) 시상식 리허설 ○ (13:00) 지구어린이클럽 환경포스터 시상식 ○ (14:40) 아시아 어린이 회의 ○ (17:25) 수상 학생 간 우호증진 간담회 	
8.10.(금)	도쿄	김포		<ul style="list-style-type: none"> ○ 도쿄출발(12:05)-김포도착(14:25) - OZ1075편(2시간 20분) 	

3 주요 출장 결과

□ 도쿄타워 시찰

- 일시 : 2018. 8. 7.(화) 18:00 ~ 19:00
- 장소 : 도쿄타워
- 내용
 - 도쿄타워를 이용한 도쿄 홍보 현황 확인 및 서울 도쿄 비교 설명
 - 인솔 학생들에게 도쿄타워와 남산타워의 유사점과 차이점 비교 설명
 - ▶ 도쿄타워는 지하철로 이동이 용이한 도심지에 위치하고 있으며, 150m 전망대와 250m 특별 전망대 운영을 통한 관광객 유치
 - ▶ 남산타워는 남산 꼭대기에 위치하여 케이블카, 버스 등으로 접근이 도쿄 타워보다 어렵지만, 상대적으로 높은 곳에 위치하여 서울 전경을 확인하기 편하고, 4~5층 전망대 1개를 운영 중임
- 시찰사진



□ 도쿄메트로 역사 및 지하철 시설물 시찰

○ 일시 : 2018. 8. 7.(화) ~ 8. 8.(수)

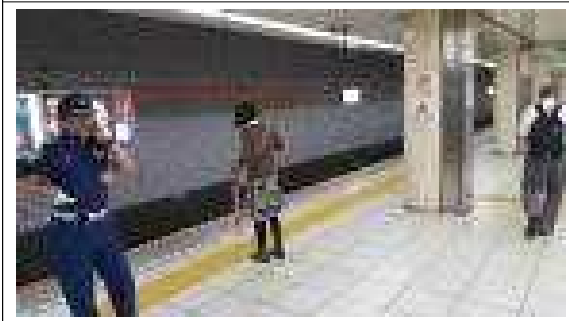
○ 장소 : 도쿄메트로

○ 주요 우수 도쿄메트로 정책

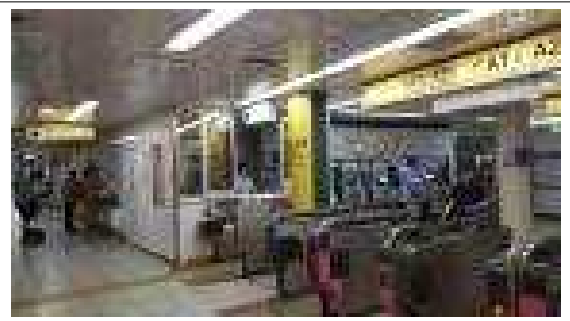
- 주요 승강장 안전요원 배치·운영을 통한 혼잡역사 이용객 안전 확보
- 역사 게이트별 역무원 배치를 통한 무임승차자 적발 및 관광객 안내
- 지하철 내 하차지점 및 엘리베이터, 에스컬레이터 현황 안내를 통한 지하철 이용 승객의 하차 지점 혼란 방지, 공항 등 주요 시설물과 환승 통로 최소화 설계를 통한 지하철 이용 승객의 환승 편의 제공
- 지하철 내 통로 천장에 광고물 게재를 통한 광고 수입 창출

○ 시찰사진

안전요원 운영



게이트별 역무원 배치



지하철 하차지점 안내



환승 통로 최소화 설계



도쿄메트로 스크린도어



지하철 내 광고물



일본 고전 상가 복원지 시찰

- 일시 : 2018. 8. 8.(수) 10:00 ~ 11:30
- 장소 : 아사쿠사 일대
- 내용 : 일본 전통 상가 복원을 통한 전통시장의 관광객 유치
- 시찰사진



우에노 국립과학박물관 시찰

- 일시 : 2018. 8. 8.(수) 13:30 ~ 16:00
- 장소 : 우에노 국립과학박물관 시찰
- 내용 : 일본의 대표적인 자연사 박물관인 우에노 국립박물관 시찰
- 시찰사진



□ 시상식 리허설

- 일시 : 2018. 8. 9.(목) 10:00 ~ 11:30
- 장소 : 일본 참의원회관
- 내용 : 시상식 관련 예행연습 및 주의사항 안내
- 행사사진



□ 시상식

- 일시 : 2018. 8. 9.(목) 13:00 ~ 14:30
- 장소 : 일본 참의원회관 1층 대강당
- 내용
 - 13:00 제22회 환경포스터 공모전, 제28회 작문 대회 시상식 개막
 - 13:05 내빈 및 지구어린이클럽 관계자 소개
 - ▶ 쿠와바라 스스무 외무성 국제 협력국 심의관
 - ▶ 오구리 히데키 문부 과학성 초등중등교육국 교과 조사관
 - ▶ 콘도 오토모 히로 환경부 대신관방 심의관
 - ▶ 타시로 환경부 대신관방 실장 보좌
 - ▶ 상토오 아키코 지구어린이클럽 회장/참의원/전 참의원 부의장
 - ▶ 마루오 토시유키 지구어린이클럽 부회장/(주)유우키상사 대표이사
 - ▶ 이다 토시오 지구어린이클럽 전무 이사
 - ▶ 이마이 에리코 지구어린이클럽 이사/참의원
 - ▶ 슌즈키 지구어린이클럽 이사/전 도쿄도 의원
 - ▶ 카네코 요시에 콩쿠르 심사위원/서도회 회장(지원 단체)
 - ▶ 나가오카 신이치 재단 법인 나가오카 육영회 이사장
 - ▶ 사카모토 재단 법인 나가오카 육영회 전무 이사(협력)
 - ▶ 오동훈 서울시 국제 교류 담당관실 주무관 아시아 담당

- 13:30 시상식
 - ▶ 작문 1명, 포스터 1명 상토오 아키코 시상
 - ▶ 작문 2명, 포스터 2명 쿠와바라 스스무 외무성 국제협력국 심의관 시상
 - ▶ 작문 2명, 포스터 2명 오구리 히데키 문부과학성 초등중등교육국 조사관
 - ▶ 작문 2명, 포스터 2명 콘도 환경성대신관방 심의관 시상
 - ▶ 작문 1명 상토오 아키코 회장 시상
- 14:00 콩쿠르 총평, 카네코 요시에 심사 위원
- 14:05 지구 어린이 클럽 독가 합창
- 14:10 기념 촬영
- 14:30 폐회사

○ 시상식 사진



지구어린이클럽 수상작(포스터 부문)

○ 내각총리대신상

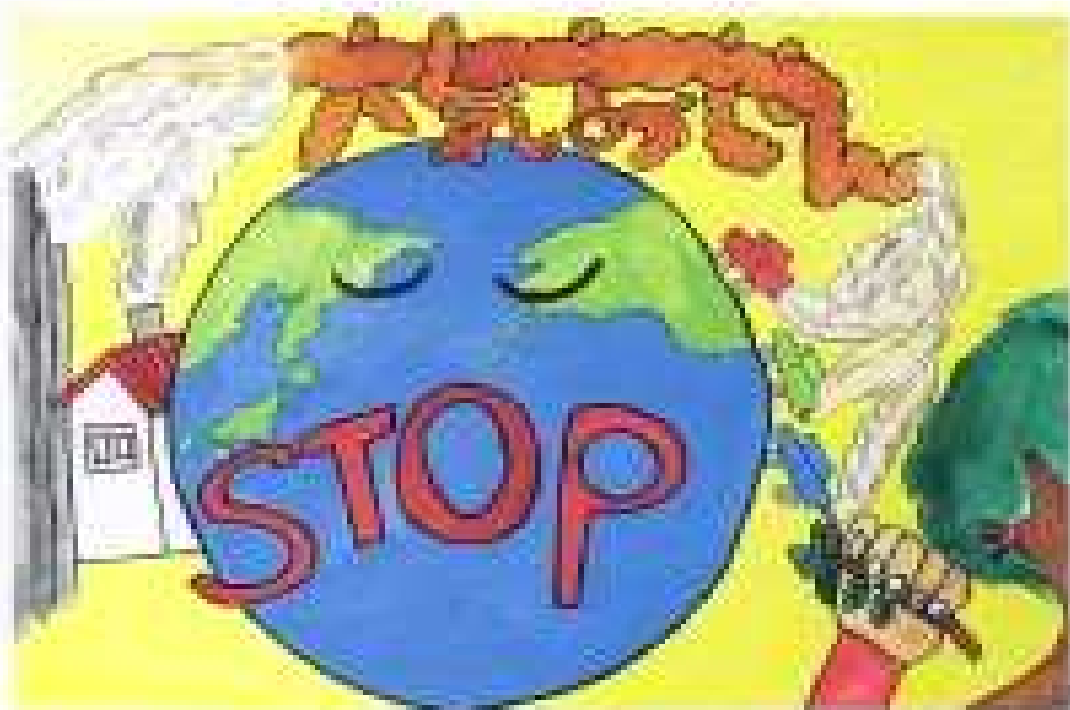


『青い空をいつまでも』

高橋 菜優 (たかはし まゆ)
福島県 いわき市立榎田中学校 3年生

○ 외무대신상(초등부)

【外務大臣賞】
小学生部門



『STOP！ 大氣おせん』

松本 知彩 (まつもと ちさ)
千葉県 勝浦市立勝浦小学校 5年生

○ 外務大臣賞(中等部)

【外務大臣賞】
中学生部門



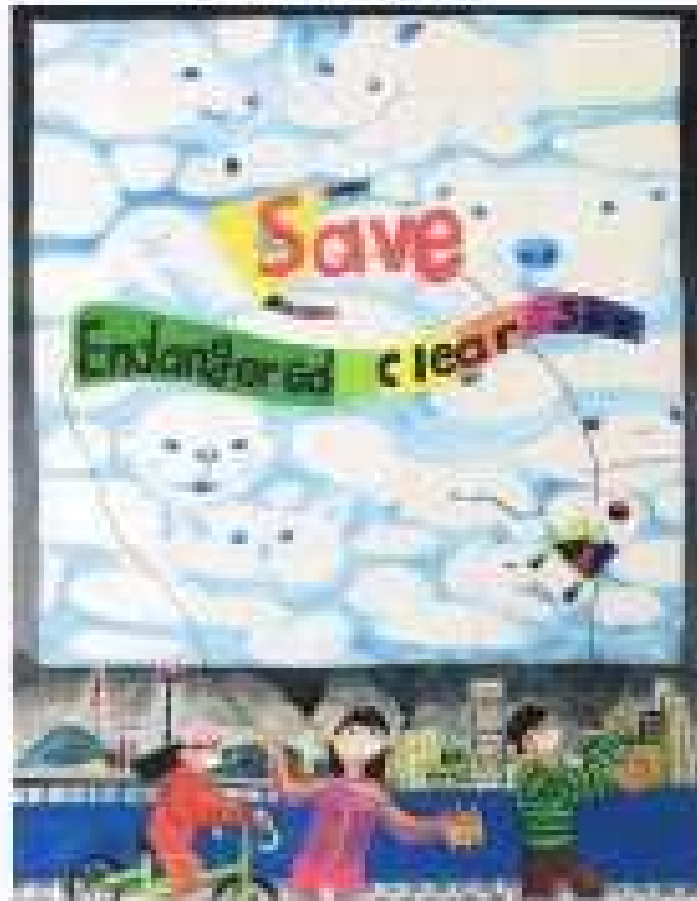
『肌の色は違っても、環境保護は1つ』

林 涼 瑤 (イム・スミン)

韓国 ソウル市 東元中学校 2年生

○ 문부과학대신상(초등부)

【文部科学大臣賞】
小学生部門



『絶滅危機にあるきれいな空を一緒に守りましょう』

康 祚 顔 (カン・ジョアン)

韓国 ソウル市 ソウル新川^{シンチワン}小学校 6年生

○ 문부과학대신상(중등부)

【文部科学大臣賞】
中学生部門



『 STOP ! 大氣汚染 』

北居 由鈴名(きたい ゆりな)
兵庫県 私立神戸海星女子学院中学校 3年生

○ 환경대신상(초등부)

【環境大臣賞】
小学生部門



『100年後もきれいな空気を残したい 大気汚染NO!!』

菊地 里美(きくち さとみ)

大阪府 千里みらい夢学園枚田市立橋山台小学校 6年生

○ 환경대신상(중등부)

【環境大臣賞】
中学生部門



『明日も、100年後も・・・』

石田 悠季乃 (いしだ ゆきの)

群馬県 群馬大学教育学部附属中学校 2年生

□ 지구어린이클럽 수상작(작문 부문)

○ 내각총리대신상

内閣総理大臣賞

タイトル【一人ひとりの植物から】

埼玉県 蕨市立蕨中学校1年生 本永 悠太郎

私の父は、林業に関する仕事をしているので、幼少のころ、自然と触れ合う生活をしてきました。生まれた時から、木の香りのある部屋で過ごしていました。なぜなら、道具道具は木の屑材(廃棄物処理のために木を削ぐて作られた木片)を利用して作った障子でした。中でも、父からプレゼントされた学習机は今でも宝物です。父が一人から作ってくれた事で驚かすうれしさと、木のにおいがする部屋が大好きでした。小さな部屋で自然に触れることの出来る環境は、気持ちを癒やせる場所です。今も大切に使っています。

また、さらに、シイタケのはたけの木に菌を植えたり、山登りをしたりして、学校では学べないことを父が教えてくれました。このような環境の中で成長した私は、自然の偉大さ、自然の中で学ぶ楽しさを体感することで、木に囲まれた生活は人の心を癒やさせ、また、あくもりを感じながら、自然が大好きとなったわけです。

近年「大気汚染」が問題として、ニュースで度々報道されています。主な原因は、工場などの生産活動を行う際に、大気汚染物質が排出されているためのせいだと思います。私は、この問題の解決のためにどうしたらよいか、自分一人では出来なものでかと考え、自分から始めれば良いと感じました。

私がこの課題本文と読み、読みたいのは「一人ひとりの植物を植えよう」ということです。理科の授業で、植物は日光の当たっている時には、二酸化炭素を吸収し、酸素を排出するということを学んだからです。私は、小さなことから始めることが環境問題を解決する方法になるのではないかと考えました。植物を植えることは、空気をきれいにするだけではありません。人を笑顔にさせてくれるのです。

例えば、自分が日常生活している道端に植え、百年新々の木の空気を目の前で確認すれば、きれいな花が咲き、みんな心も和むはずです。花を植らせせず、きれいに扱わせたいと思います。はじめは一人でも良いのではないかと、その地域でコミュニケーションも、少しずつ広げて行くのではないのでしょうか。

みなさん、家でお花を育てる所から始めませんか。私は、道端から、そして、友達へ、友達から住んでいる地域へ、地域から日本へ、日本から世界へ、みんなが協力して、植物を植える活動を広げていきたいです。

このように、私は、大気汚染問題の解決には、「一人ひとりの植物を植える」ことから始めたいと思います。植物の力はすごいのです。世界中の人も笑顔にできるのです。まず私がやることは、父が通っている森に行き、木を植えたいと思っています。少しでも世界中の多くの人が大気汚染に苦しむことなく、笑顔で生活できる環境を守ってほしい。

○ 外務大臣賞(초등부)

外務大臣賞：小学生部門

タイトル：【おいしい空気をいつまでも…】

千葉県 国府川立国府小学校 4年生 松原 友真

「空気にもしお供があるはず！」

私の住んでいる千葉県国府町は自然がいっぱい残っています。多くの観光客が訪れる、ゴッポウ祭り・カブ祭り・国府大漁祭りが終わったあとの街はみんなの空気の汚れとはもがっていたように感じていたので、地産を見直してみることにした。三月のある日、観光客のみならずのみんなの歩いた後のメイン通りを歩いてみず、目に入ったのはゴミの量の多いことでした。

近ごろ、私の家の近くまで、サカ、イノシシ達があらわれます。ソーラーパネルを設置するための工事が行われているので、エサのある場所がなくなり、下りてくるのだと考えます。

そこで、「街の空気がどのくらいきれいかわ調べてみたいなぁ」と気遣いしたら、歴史のある几帳面に園に連れて行ってくれました。

車から下りると空気がひんやりとしていて、森全体が自然の中を感じ込ませてくれました。一しゅんで、おフレッシュした気持ちになりながら、森を下ろせる神社に行くと、海からは潮の香り、山の方からは草の香り、こしを下ろしてみると土の香り、大きな音響機をすると森の中がスッカヤ……。

「これがおいしい空気というものだよ」

ゆっくりと私の心に届けてくれているように感じました。世界中につながっている、森が本物の香りを届けていることを感じました。

その時の感動の数は青かった。どこまでも続いていた。

「こんなにきれいな空気のままでいられるために、どんな対策をとっているのかなぁ。」と聞き直してみると、

「空気の汚れを減らす樹皮屑の設置、樹の本を植える、ゴミの処理方法、ゴミを外で捨てるなど、園側では何事も怠らしているよ。」

と直感が通ってくれました。

園に降り、森ではどんな対策をとっているのか調べてみると、①アークやクワなどに動物などで汚れた水を入れる、②の動物に汚染物を食べさせて廃棄、③増えた生物ときれいになった水を引ける、④土に押し込んだだけの日や雨に流す。土じょうや植下木の汚染は成層口になると汚れた水を飲むことになる。とパンフレットがすでに配布されていました。「意識して実行している人はどのくらいいるのかなぁ」とつとまると、近くにいる森が「国庫があるなら『きれいな地球を守る会』という団体があるので、今度一しょに参加してみよう」ときそってくれました。

おいしい空気をいつまでも……

一人の方では解決できないことである。協力して実行しなければいつまでもすんだ空気は守れない。今日からすぐ行動し、すんだ空気をすい、きれいな空気がいつまでも見られるよう、私も行動していきます。

○ 外務大臣賞(中等部)

外務大臣賞：中学生部門

タイトル：【一つ星の空】

兵庫県 神戸市立平野中学校2年生 天野 悠月

「それゆえに辛いかな」

風車を眺める我、シタで電力発電。私達が暮らす国から平野まで「これからのエネルギーのアイデア」グリーンパワーキッズ。皆の思いが一つの未来を作り出して行く。

私は今の状況、学校で四大国語科と多様な日本について学んでいた。しかし、ニュースなどで感じられる様々な環境問題、「公害は昔のものなのか」そう考えたとき、私は大規模なエネルギーを都市から学び、決定的エネルギーを導く活動に必要した。

夢見してまず驚いたこと、それは、日本のエネルギー自給率がたった10パーセントに過ぎないことだった。そのとき私は、日本が資源的に恵まれていると多くの学生が考えた事実を思い出した。とりわけ明るく光る日本は、電力をどれだけ消費しているのかを物議を醸していた。

そのことを実感した出来事がある。2019年の夏、神から帰るるときもはてしないのに空が青明るく広がっていた。それはとても不自然で、私が通う神の自然学校や世の観光地ではありえないことだ。それは、人口だけの増減ではないと思う。

私がグリーンパワーで学んだこと、限りある資源と産業や人口増加によって起きるエネルギー不足。地球温暖化や環境破壊のないエネルギーが必要とされていること。そこで私は、これからの未来について話し合いアイデアを提案し、発表し、実行した。神戸・徳島・静岡・東京とそれぞれの生活環境の違いから、思いもつかなかったような意見が出てきた。夢見した世界で違いがあるならば、日本や世界全体ではもっと違うのではないだろうか。私は前年の秋、国際協力で行う「宇宙探検」の発表をした。「宇宙から見ると国境はない」とも利根さんの言葉を引用させてもらい、これからのエネルギーには、国際協力が必須だと訴えた。それには、意見や文化の違いが大きな壁になるかもしれない。

しかし、グリーンパワーキッズでは、同じ思いを持って集まったからこそ分かり合えた。そのように話を聞くと、互いに意見を伝え合う道がより増えていけば、大きな視野で考えられる人を増やして行くことになると思う。そしてそれが、エネルギー、自然、人の身体、再生の輪につながって行くだろう。

私はこの作文を書き進めて行くうちに、「太陽を眺めしめ生きていくことは、特別なことなのではないが」と、思った。「青い空ときれいな空気がすべてにめぐむことを信じ、物心も次第にして行きたい。One for all, all for one. 一つの星の空の下、共に暮らす喜びをかみしめながら。

○ 文部科学大臣賞(초등부)

文部科学大臣賞：小学生部門

タイトル：【明るい未来のために】

群馬県 群馬県セゾ小学校5年生 中野 愛子

今、世の中ではインスタグラムが大流行している。カラフルな食べ物やかわいらしい物を写真に撮り、投稿しているのだ。私が思案に行った時のことだ。インスタグラムをのぞくための写真を見て、気づかずに捨てられたスマートフォンやアイスなどが教室のゴミ箱にあふれているのを見た。私は、一歩何が起こっているのかと驚いた。

私は、おじいちゃんをした者でいっぱいだ。私はこれが平凡なのかと不思議に思った。これは本当の幸せなのだろうか。

「ゴミを処分」ということは、ゴミを捨てる過程で有害物質が排出され、大気汚染につながっていく。つまり、地球を汚染しているということになる。

私は社会科の授業で、「子ども環境セット」が展開されたという記事を見つけた。この活動は、地球環境をよくするために不燃物が残っていることを知らせようという活動だ。私達にも出来ることがあるのではないかと思い、友達と考えてみた。

まず、食べ残しをしない、必要以上に買い物をしない、エコバック運動などが出来ると思った。私達は便利な社会があたりまえになっていると思う。豊かな国に生かされる私達はず、大量に物を消費する生活から見直していく必要があるのではないかと。

その前に私の身の回り、何か大気汚染への対策がなされていないだろうか。

「そうだ」

私は、おじいちゃんに最近自家用車のカーブが荒られていることを思い出した。おじいちゃんに車のことについて聞いてみた。

「おじいちゃんの家は、最近家のハイブリッド車なんだよ。ゆっくり走る時はエンジンが止まってモーターが回り、排気ガスを吐かないで走る車なんだよ」と教えてくれた。さらに、運転中の音で「地球をやるために、自転車に乗ろう」という看板も見つけた。私は、身近な所にも目を向けてみると、たくさん対策がされていることに気付いた。

私達がやがて大人になって、次の世代を築くことになる。生活レベルが向上して行くことは良いことではあるが、本当に必要なこと、大事なことを見失わないようにしたいと考える。今、世界の国々が一面閉鎖し、自然環境を守ることはもちろん、「本当の幸せ」に気付いて行くべきではないかと。

宇宙飛行士の有田隼さんは、

「スペースシャトルのエンジン1号から見ただけはきれいだった」

と語っていた。この美しい地球を守るために、私達一人ひとりが貢献をし、力を合わせて行きたいと思う。そうすれば、きっと明るい未来が待っている。

○ 文部科学大臣賞(中等部)

文部科学大臣賞：中学生部門

タイトル：【広く青い空を求めへ】

神奈川県 東海日吉台学園中学校2年生 五十嵐 純真

我々の目の前の課題は、絶えず車が打ち交っている。洗車場を干そうと車をふくと、臭い匂いが付着する。これが空気に浮遊しているのかと思うと、大気汚染の問題も身近に感じざるを得ない。そのため、私は、小学生の頃から大気汚染について調べ、私なりに出来ることを実践している。

まず一つ目は、なるべく車を使わないことだ。車の排気ガス排出量は改善されているものの、大気汚染の一因であることは紛れもない事実だ。自宅から最寄り駅までは、徒歩十分。自転車は、勿論掛けない距離ではないが、使たしい場合は、正座車で行ってみたいくらいになってしまう。しかし、そうして車の利用が増えれば、必然的に汚染物質の排出量も増え、大気汚染が悪化する。そのため、私は、毎朝駅まで歩くことにしている。のんびり実質をする。駅まで強制的にランニングする科目になるので、電車の場合も考慮し、家を出るまでの流れを自分で考える等、時間を計算しながら計画的に行動する習慣もつき、歩くことは、大気汚染改善に貢献するだけでなく、一石二鳥と考える。

そして二つ目は、ゴミの削減だ。清掃時の汚染物質削減は非常に大きく進歩し、厳しい排出基準も定められているが、あくまで基準をクリアしているため、汚染物質が空気ではない現状は承認されていない。そこで私は、エコバッグを食品包装の選択を心がけている。

また、自分がどのくらいゴミを出しているかを把握するようにしている。それによって、食料を無駄にしない、食料を減らす、ゴミになる適切な包装はしないようにしようと、自戒の念を改めて持てると思うからだ。私は、個人から次のような話を聞いた。店で買った物をすぐ使うため、取り外したパッケージの持ち帰りをお客様にお願いと、返る人もいるので、店舗が分別して捨てる方が楽なというのだ。これは、我々の利いたサービスに聞こえるかもしれない。

しかし、私は、便利さを見て、自分の目の前から消えていってしまっていて感じるこの姿勢は、ゴミの増加とその焼却の後の大気汚染を助長させると考える。自分で出すゴミを把握することは、ゴミの削減と、その後の大気汚染改善への第一歩なのだ。

我々は、世界に繋がっている。つまり、大気汚染は、国境を越えた国境を超えて取り戻さなければならないグローバルな課題だ。環境解決は、従来とは異なる方向にあるかもしれないが、自分一人なら大丈夫という甘い考えは、今はやめよう。一人ひとりの意識改革が求められている。

この広く青い空を求めに成すためには、各自が自分の行動を律し、今日出来る努力を続ける必要がある。個人の力は小さいかもしれない。しかし、長くも無くも「誰も頼もれば山となる」のだ。私は、これからの世界を担う世代の一人として、今後も私自身の努力と取り組みを続けて行こうと、改めて心に誓った。

○ 환경대신상(초등부)

環境大臣賞：小学生部門

タイトル：【自分で出来ること】

東京都：東京府池袋立神東小学校5年生 仲田 賢治

ぼくは、お父さんからもらった新聞の中に大気汚染という言葉を知り、本でくわしく調べました。

ぼくは、朝日新聞は紙の『大気汚染のナゾイバム』という本を読みました。その中で、最もびっくりしたのは、大気汚染が原因で病気になってしまうことです。林内にホコリがたまり、熱を出したや気管支がひどくはれるようです。また、ぜん息や肺病を認すかも知れません。ぼくは本に「微小粒子状物質は静かな殺人者」と書かれている理由がわかりました。

ホコリは古くから、人間と共に存在してきました。けれどもホコリが問題になってきたのは、最近のことだと書かれています。そのホコリは土に、車や工場、建築現場などから出て、微小粒子状物質と書かれています。今朝ぼくは、天気予報でPM2.5の予報がなんのことだろうと思いました。本で調べたら、PM2.5は微小粒子状物質だとわかりました。PM2.5は、微小粒子状物質の総称です。微小粒子状物質は、すごく小さいホコリのため、鼻の奥に入ってしまうと、鼻をさらさらしている状態から気管支炎やぜんそくのような呼吸器疾患やガン、認知症になってしまう危険が大きいのです。だから、この微小粒子状物質は「しずかな殺人者」と言われてきた理由です。

微小粒子状物質から逃げる方法は、全く無いわけではないとぼくは考えています。例えば、鼻にはるとき、マスクをつけたり、鼻のホコリを鼻紙に持ち込まないことや部屋をこまめに掃除することです。日常生活の中でホコリをできるだけ吸い込まない事が大切だと思っています。

このことから、ぼくは、大気汚染をへらす活動をしていきたいと思っています。なぜならば、大気汚染をへらすことによって、微小粒子状物質をへらすことができ、微小粒子状物質で苦しむ人たちを一人でも少なくすることも出来ると思ったからです。そのため、ぼくでも出来る事を調べました。

一つは、ゴミを分別することです。ゴミを分別することで、燃やす量を減らすことができ、資源回収物や資源物、一般廃棄物を排出する量を減らすことが出来るからです。

二つ目は自転車ではなく、公共交通や自転車を利用することです。自転車は、排気ガスを出し、空気を汚染するからです。できるだけ多くの人が利用する電車やバス、地下鉄の公共交通を利用したり自転車を乗ります。

今のぼくは、出来る事が少ないかもしれないけれど、日常生活から積み重ねていけば、大気汚染をへらすことが出来ると思います。

○ 환경대신상(중등부)

環境大臣賞：中学生部門

タイトル【救うために】

広島県 江田島市立江田島中学校3年生 河端 穂

大気汚染により、年間もろり万人が命を落としている。

これは、二年前の工場による資料だが、二年が経った今も尚、世界では大気汚染により命が失われている。この工場とデータだけでは原因はばかりきらないだろう。しかし、あなたが大気汚染で命を落とす立場であればどうだろうか。私は、大気汚染という存在がとてま大きく見えた。

まず、大気汚染について説明しよう。大気汚染とは、大気中の微粒子や気体成分が増加して、人の健康や農産物に影響をもたらすことである。主な原因は人間の経済的、社会的な活動である。つまりは、私らも人間のせいであらう人間が命を落れているのだ。私は更に「大気汚染」の深刻さを実感した。

だが、そんな私も大気汚染に苦しめられた経験がある。私は滑車とアレーギーを持っており、鼻が非常に痛い。だから、日本に帰るのが怖いほどときどき、せきやくしゃみをしてしまい、授業に集中できなったり、鼻をちみちみと開けず、人に迷惑をかけたしまったりしたことがある。苦しかった。辛かった。しかし、命を落とされている人は私よりも苦しく、痛く、辛い思いをしたのだろう。そう思うと、胸が痛んだ。そういう人を救いたい。命を落とす人一人でも救いたい。そう思うものの、現実は無くてはやく癒しく、具体的な行動案は思いつけなかった。

しかし、人間は進化している。それと同時に研究も進歩している。汚染物質の削減や質の良い燃料・原料への変更、換気などの技術的対策、大気中の濃度基準などの規制等の対策が進められている。一人の力では不十分かもしれない。しかし、一人から町町村、町町村から都道府県、都道府県からやがては国となって動けばそれは大きな力となる。時として数は威力となるのだ。

だから、これを説いたあなたも、どうか種々なことでもいいから考えてほしい。考えるだけでいい。これからの健康と子孫を教えるのは今、この瞬間に直面している現代の私たちだけだ。

私は、これから読書の本を読み、大気汚染について多くの知識を身に付けたいと思っている。また、ボランティアや集会などに積極的に参加し、僕の力でも地球と人に貢献したい。

大気汚染を完全に無くすには、人間一人ひとりの協力が必要だ。明日、明日の未来を守るために、私たち人間や他の生物の命が失われるために、地球を救うために、今こそ一丸となるべきではないだろうか。

○ 지구어린이클럽상

地球こどもクラブ賞

タイトル：【大気環境のために】

東京都 聖心女子学院初等科5年生、二編 札幌

「おー!」

風が吉に吹いた。お母さんと手つかりそうになり、あわててハンドルを左にかたむけた。私は今、自転車で行く事にむかると有だ。以前は、お母さんに車に乗ってもらっていたが、私は買い物に自転車で行くことにした。なぜなら……

「ふー」

轉路の上を一センチ、また一センチと進んでいく小さな小さな電車。私は、その一つ一つの動きを食い入るように見ていた。ここは科学館。私が見ているのは、リアモーターカーのミニチュアだ。「リアモーターカーとは、電力を利用して走る電車で、私がここに来たのは、夏休みの自由研究でこの「リアモーターカー」のしくみを再現したおもちゃを作るからだ。ここで色々な展示を見たり、保の人に話を聞いたよ。リアモーターカーは、走行速度みに速いスピードであることができる上、一度にたくさんの人を運ぶことができる。

また、二酸化炭素の排出量が航空機の約二分の一、自動車の約四分の一ほど少ない。リアモーターカーは、とても速いのはもちろん、環境にやさしい乗り物だということが分かった。私は、環境にやさしい乗り物についてインターネットで調べていくうちに、空気がよごれている原因の項目にたどりついた。あまり聞いたことのない単語のものが原因としてあげられていた。大気によごれは、自動車、特にディーゼル車から出る、二酸化窒素（NO2）や浮遊粒子状物質（PM）が原因とあった。

そういえば、渋谷や新宿、原宿などの大都会では、おもしろなメロウが空をならび美しい風景であるが、大きな空気のよごれはひっきりなしに車が走る。そのせいで、空気がよごれていると感ることがある。こういった場所に行くと、胸がせまが出るからだ。

「大気によごれ」というのは、日常生活の中では不便なものだ。みんなが快適にすごすということはむずかしいことだと思うが、一人でも快適にすごすために、私たちは日頃から何に気を付けてすごすと良いのだろうか。

私は、着衣からできることを一つ考えてみた。それは、歩いて、電車で行ったりできる時には、なるべく車を使わないということだ。自転車の使用を減らすことにより、NO2やPMの排出量を減らせると思う。また、歩くことは、健康にも良い。この一つだけでも実行することで、大気の環境を良くすることに一歩近づけると思う。

私は、風を全身に受けながら、自転車を力いっぱいこいだ。

□ 아시아어린이 회의

- 일시 : 2018. 8. 9.(목) 14:45 ~ 17:15
- 장소 : 일본 참의원회관 1층 대강당
- 내용
 - 14:45 제25회 아시아 어린이 회의 개회
 - 14:46 개회사(지구어린이 클럽 마루오 사토시 지회장)
 - 14:50 기조 강연(환경성 환경 교육 추진실 타시로 실장 보좌)
 - 15:20 입상자 각 그룹 대화 및 발표
 - 16:45 어린이 선언서 정리 및 작성
 - 17:05 환경성 환경교육 추진실 타시로 실장 보좌에 선언서 전달
 - 17:15 아시아 어린이 회의 종료
- 행사 사진



수상 학생 간 우호증진 간담회

- 일시 : 2018. 8. 9.(목) 17:30 ~ 18:40
- 장소 : 일본 참의원회관 지하1층 104호
- 내용
 - 17:30 개회
 - 17:35 건배사 부모 환담
 - 18:30 폐회사
 - 18:40 친목회 종료
- 행사 사진



4 **향후 계획**

환경 관련 부서 및 단체에서 행사 준비 협의 추진

- 지구어린이클럽의 환경포스터대회는 환경을 주제로 진행되고 있어, 행사와의 연관성 및 실질적인 교류 활성화 등을 고려하여 향후 기후환경본부 또는 서울에너지공단, 서울시 등록 환경 시민단체 등에서 행사 준비 및 협력사업을 진행할 수 있도록 협의 예정

도쿄도 등 일본의 주요 도시들과 추가 협력사업 발굴

- 단편적인 행사참석 위주의 교류를 지양하고, 지속적이고 양 도시 시민들에게 실질적으로 도움이 될 수 있는 사업을 발굴하여 일본 내 주요 도시들과 협력 강화 추진 예정 끝.